

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市民芸術文化ホール、堺市翁橋公園	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の更なる向上を図るとともに、魅力及び活力のある地域社会の形成並びに都市魅力の創造及び発信に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
平成28年10月1日から令和6年3月31日まで(7年6か月間) (平成28年10月1日から令和元年秋の開館までは準備期間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること ホールなどを活用した文化振興事業を行うこと レストランの管理運営に関すること 堺市翁橋公園の維持管理、活用等に関すること 避難誘導訓練等を行い、緊急時の対応に備えること 駐車場の管理に関する業務 	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
非公募	
(非公募の場合、その理由)	
<p>堺市民芸術文化ホールが本市の文化施策における中核を担う施設として、市民の文化力の向上及び魅力と活力のある地域社会の形成や都市魅力を創造・発信していくためには、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」やその指針を遵守し、公共ホールの使命を果たすことが重要である。当ホールの管理運営は、平成27年4月に施行した「自由都市堺文化芸術まちづくり条例」に基づく、文化振興によるまちづくりの観点や本市の文化振興施策との整合性を図る必要があり、当ホールが中枢文化施設として、長期の企画・準備期間を要する優れた舞台芸術や多彩な公演を開催することや専門人材の確保・育成の観点から長期的な視点が必要である。また、堺市翁橋公園は、緑豊かな憩いの場及び来館者を迎え入れるアプローチ空間として、ホールと一体的に整備し、管理運営することが、効率的・効果的な維持管理だけでなく、そのスペースを活用した様々なイベントを主体的に速やかに実施することができ、機能的で有意義な空間活用が可能となる。公益財団法人堺市文化振興財団は、本市の文化振興の推進母体として設立されて以来、市内文化団体や教育機関などと連携して普及啓発事業などを展開してきた実績があり、市と一体となって、公共ホールとしての使命を果たしつつ、実施する事業の質を担保できる。これらの点を踏まえ、採算性と公益性のバランスをとった運営が可能である公益財団法人堺市文化振興財団に随意指定するものである。</p>	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
兵庫県立芸術文化センター	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	新型コロナウイルス対策ガイドラインを策定し、継続的な開館の維持・継続の指針を定め、利用者及びスタッフの安全安心を確保している。また、公益財団法人堺市文化振興財団個人情報保護規程を遵守した運用を行っている。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	専門性が高い各分野の主要ポストには優れた実績をもつ人材を登用。劇場、音楽堂等の活性化に関する法律の趣旨を踏まえ、中長期的な人材育成に努めている。また、舞台技術や施設維持管理に係る専門技術スタッフを配置し、施設の適正管理を実施している。
施設の設置目的に沿った事業の実施	クラシックやオペラ等多様な文化芸術振興事業の実施により、市民の文化芸術にふれる機会を創出しており、また貸館を中心に、市民自らが文化芸術活動を行う環境を提供している。またこれに関わるスタッフの人材育成にも取り組んでいる。
その他特筆すべき取組	施設内、ハード面ソフト面で新型コロナウイルス感染症対策を順次実施している。(大ホール・小ホールの客席やドア、通路に抗ウイルスコーティング施工完了)

イ 市による状況分析

業種別のガイドラインを踏まえたフェニーチェ堺独自の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを定め、コロナ禍における施設の継続運営の指針とし、安全安心の取組を進めている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)			205,089	107,200	—
稼働率(単位:%)			50.3	58.5	—
利用者満足度(単位:%)			96.8	99.5	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	施設利用に係る簡易パンフレット、企業向けパンフレットの作成など、ホールセールを推進するとともに、随時施設見学等に対応して施設の魅力を伝えるなど、リピーターの定着を図った。
意見・苦情・要望等への対応	フェニーチェ堺ホームページからの問い合わせや「市民の声」等お客様への対応を随時行っている。公演アンケートからもコロナ禍における安全・安心の取組が評価されている。
その他特筆すべき取組	コロナ禍で部活動の発表の場が失われる中、「Dance Power in フェニーチェ堺」を開催し、保護者等関係者を招待し、高校生に発表の場を提供した。その模様が、関西テレビで報道された。

ウ 市による状況分析

上記以外にも、フェニーチェ堺は「堺市文化芸術応援企画」に協力し、コロナ禍にあつて文化芸術活動が制限される個人や団体への支援を市とともに行った。今後も借り控えや公演入場者数への影響は続くと見られ、コロナ禍前の利用状況に戻るにはある程度期間が必要と思われる。また、利用者満足度は高水準を維持、指定管理者の取組が評価されていると考えられる。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	98,000,000	182,108,421	765,588,821	481,855,148	551,370,000
	利用料金	0	0	29,595,305	46,101,605	92,734,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	420,250	17,100	234,002,759	72,519,005	197,618,000
合 計		98,420,250	182,125,521	1,029,186,885	600,475,758	841,722,000
支出	人件費	51,330,332	92,514,911	157,754,058	146,457,601	152,500,000
	委託料	1,470,920	9,538,860	599,256,547	281,919,490	452,516,000
	総支出額に占める 委託料の割合	1.6%	5.4%	61.7%	48.2%	53.8%
	修繕費	0	0	3,935,059	819,730	5,000,000
	光熱水費	984,633	4,198,247	53,349,193	52,723,282	68,034,000
	その他	39,934,383	69,930,890	157,513,046	103,233,939	163,672,000
合 計		93,720,268	176,182,908	971,807,903	585,154,042	841,722,000
収支差額		4,699,982	5,942,613	57,378,982	15,321,716	0
(市への納付金の額)		2,349,991	2,971,307	40,529,674	7,660,858	-
(徴収委託の場合の徴収額)		-	-	-	-	-

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収 入		-	-	4,864,790	3,416,791	4,035,000
支 出		-	-	2,161,936	562,979	3,321,000
収支差額		-	-	2,702,854	2,853,812	714,000
(市への納付金の額)		-	-	-	-	-

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業でキャンセルや利用控えが相次いだことから、利用料金や駐車場収入が大きく悪化したが、人件費等の経費縮減を図った。指定管理料には市の休館等の指示で還付した令和2年度の利用料金等相当分として市が支払った78,417,059円を含む。その他収入には市の休館等の指示で還付した令和元年度の利用料金等相当額として市が支払った18,850,901円を含む。
------------	--

ウ 市による状況分析

利用料金収入は年度当初の想定より大きく悪化したが、経費の縮減や市が新型コロナウイルス感染症に係る利用料金の還付等の補填対応を実施したことから、収支差額はプラスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
文化芸術振興事業実施回数	鑑賞18、創造・発表3、普及・育成18、諸室活用12、翁橋公園2	鑑賞19、創造・発表7、普及・育成22、諸室活用6、翁橋公園2

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	478,000人	107,200人
施設稼働率(大ホール、小ホール、大スタジオ)	80%	52.4%
施設稼働率(その他諸室)	65%	60.9%
満足度	90%	99.5%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金及び入場料収入	330,000千円	118,621千円

イ 市による状況分析

年間通じて、緊急事態宣言の発出等による公演中止や一部期間に臨時休館や時短営業の対応を行ったことなどから貸館稼働率が低下し、目標未達となった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	年間通じてコロナ禍による催事の中止、延期が相次ぎ、稼働率は目標に届かず、利用料金収入も低調であった。中でも大ホールではプロモーター等の利用実績が少しずつ増えている。また、ガイドラインを遵守し、実施した公演では来場者満足度は高く、引き続き堺市の中枢文化施設として取組を進める。	緊急事態宣言に伴う臨時休館もあり、コロナ禍における会館を取り巻く環境に対応し、安全安心な会館運営を行った。海外アーティストの主催公演は全て中止となったが、オンライン配信に向けた取組への着手も見られる。SNSを積極的に活用し、広報活動を進めている。
今後の取組	第2期堺市文化芸術推進計画に沿った事業の編成を考えるとともに、劇場・音楽堂等機能強化推進事業の採択をめざし、その実績づくりとなるような公演事業に取り組んでいく。	子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした主催事業やプロモーターとの共催事業による多様かつ魅力ある事業の実施を要望する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの